

図1 レセプト分析の対象とする範囲(予防すべき生活習慣病の範囲)

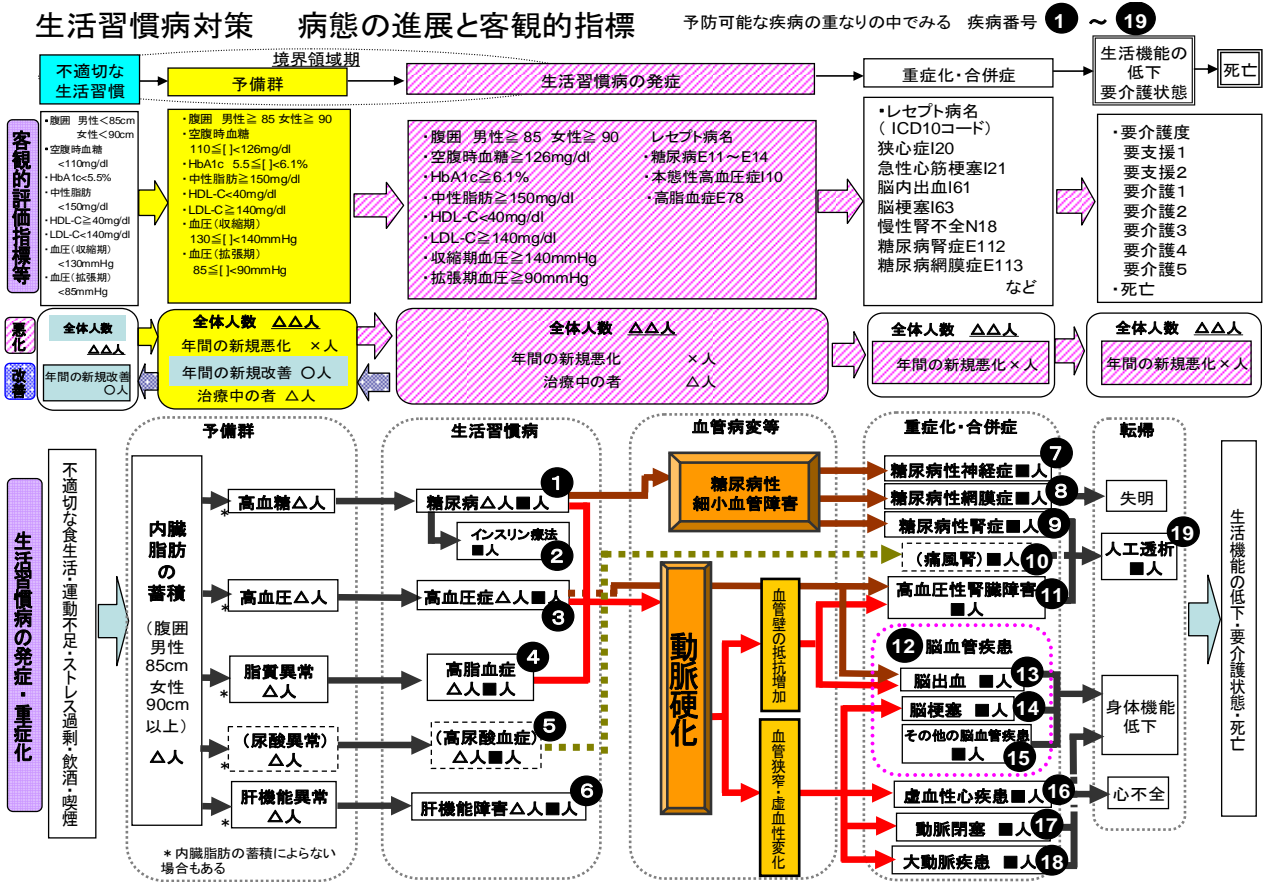
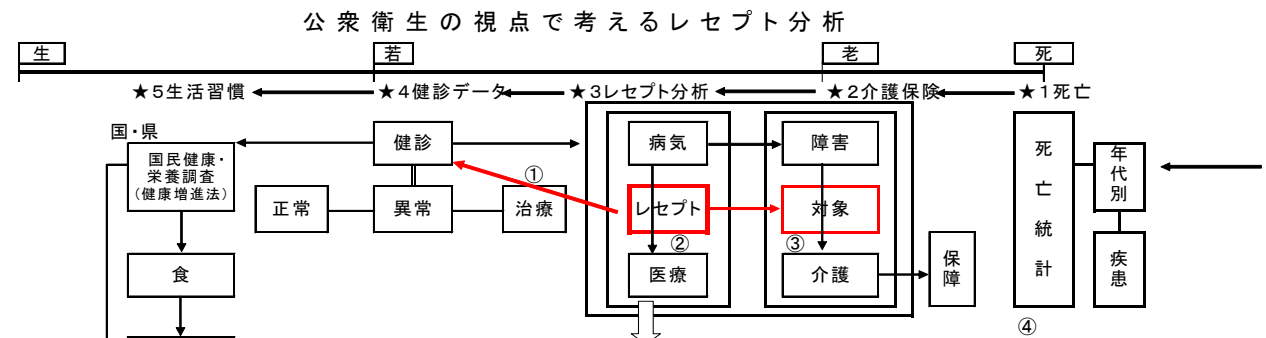


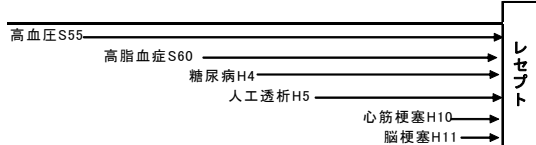
図2 公衆衛生の視点で考えるレセプト分析(沖縄県国保連合会)



まず、レセプトを健康日本21の視点でとらえる
 目標：早世、障害予防 → 課題：生活習慣病予防

- ① その疾患は予防可能なのか？
- ② お金のかかる疾患は何か？
- ③ どういう障害がでてくるのか？
- ④ 死亡の状態はどうか？

(例示)



* 個人のレセプトをみる

- ・病気の経過を見ることができる。(病歴)
- ・このレセプトは予防可能だったか？ (健診結果と関連させながら、個人の事例から学ぶ)
- ・同じような疾病の人が何人いるのか？ : 疾病別、年齢別
- ・疾病の程度はどうか？ : 重症化、大血管、最小血管 (二次、三次のどの段階なのか)
- ・その後障害をおって介護保険の対象になっていく。(介護保険の実態と照らし合わせながら)
- ・介護保険の基礎には、病気があり、そしてその病気の前には健診がある。